

議会だより

行政報告・補正予算
 同意案件・諮問案件・意見書… 2～3
 町政のそこが聞きたい…………… 4
 一般質問…………… 5～6
 常任委員会の動き…………… 7～9



手火山造り(てびやまづくり)の『鮭節』を解説する田村代表



研究会の原点と『鮭節』の価値観を語る田村代表



蕎麦畑を背景に『鮭節振りかけ標津産蕎麦』



今回参加の16名に、「次回は、是非現地にて！」と来町を請う関係者

【7月27日(月)】オンラインツアー『日本遺産・鮭の聖地 鮭ぶし工場見学+満開そば畑で鮭ぶし蕎麦を食べようツアー』の様様

美しい村標津産蕎麦作り研究会

- ♣代表：田村 正範
- ♥会 員：9名
- ♠設 立：平成20年5月

素朴に白き満開の蕎麦の華



◆地場産の美味しい蕎麦を食する事を趣旨として、蕎麦好きが集い設立。今年の作付面積は、5町6反(5.56ha)、借り受け面積は8町(7.94ha) 超え。
 【蕎麦好き会員の心意気と努力の結晶が『鮭節』となり、結実】

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

秋鮭漁の小定置の結果は昨年の85%減 来遊予測は厳しい数値が発表されている



金澤瑛町長の行政報告

基幹産業の状況

酪農業

4月から6月の天候が日照・気温・降水量とも平年並みに経過し、牧草の生育は総じて平年並みとなった。しかし、6月中旬以降から7月中旬までの天候不順により収穫作業が大幅に遅れ、自給粗飼料の品質低下が憂慮されている。8月以降は天候は回復したものの、2番草の収穫については、1番草の収穫作業遅延により、生育に遅れが生じた。生乳生産量は、4月から8月末現在でほぼ対前年並みの累計で4万5600トンとなっている。令和2年産自給粗飼料の給与が開始されるにあたり、購入補助料の給与が必須であると考

漁業

えられ、酪農生産コストの上昇が懸念される。秋鮭漁は8月末に終了した小定置漁の結果は、40トンであり昨年の85%減であった。平均目回りは3・1kgと昨年より1割以上小さかった。定置漁については、9月1日から順次網入れが行なわれた。9月9日までの水揚量は、100・7トンと、昨年の26%以上の減である。漁が始まったばかりで、今年の漁模様について言及できる時期ではないが、今年の根室北部海域での来遊予測については、大変な不漁であった前年をさらに15%程度下回っている。平均単価は、

小定置での高値の影響を受け昨年同時期より3割以上高い1kg当たり744円である。

ホタテ漁は、8月25日に夏の操業を終え、漁獲量は7038トンと年間計画の6080トンをすでに達成した。水揚額は11億3千万円を超え、前年同期より約4億1千万円、57%の増となった。単価については、本年は全道的に資源量が多いことから下がる予想されていたところに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大が輸出に大きな影響を及ぼしたこともあって、大きな下げ幅となり、春先には一時的に、1kg当たり100円を切る場面もあり、大変心配した。その後、夏操業に入ると単価が上昇し、平均単価は昨年より20%低

お詫び

本誌175号（6月定例会・令和2年8月1日発行）において、「同意案件」標津町農業委員会委員名に、左記の通りの誤りがありました。訂正すると共に、深くお詫び申し上げます。

同意案件

標津町
農業委員会委員

正 茅 原 一 也 氏
誤 茅 原 一 也 氏

同意案件

標津町教育委員会委員

今野美智子 氏

標津町北6条西1丁目1番26号

〈任期〉

令和2年11月1日

～令和6年10月31日

標津町固定資産評価 審査委員会委員

佐々木則夫 氏

標津町字古多糠780番地3

〈任期〉

令和2年9月26日

～令和5年9月25日

諮問案件

人権擁護委員

佐藤 強 氏

標津町字川北南1線西1番地6

〈任期〉

法務大臣の委嘱の日から3年間

意見書

○新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し、地方財源の確保を求める意見書

提出者

大垣 勇 議員

○国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書

提出者

大垣 勇 議員

一般会計の補正予算

主なもの

(単位:千円)

項目	金額	内容
ひかりの景観創出事業	1,489	海の公園に整備中のイルミネーションについて、補強工事、オブジェの追加を実施
地域活動支援センター事業	1,320	障がい者の日中の居場所づくりや、日常生活上の相談機能を担う「地域活動支援センター」の開設に伴う、運営委託経費
環境衛生用車両購入費	4,100	環境衛生業務に使用する既存車両の老朽化に伴う更新(トラック1台)
地球温暖化対策活動推進事業	4,993	地球温暖化対策に係る情報発信や普及・啓蒙活動を実施(小冊子・副読本の作成等。環境省による100%間接補助)
一般廃棄物最終処分施設整備に要する経費	8,441	国道工事に伴う崎無異最終処分場の電柱移設及び新施設整備に係るボーリング調査に要する、根室北部衛生組合負担金の増額
プレミアム商品券発行事業補助金	16,700	町商工会が実施する、「プレミアム商品券発行事業」に対する補助金(第2弾)発行総額65,000千円の内、プレミアム分(30%)を町(20%)と道(10%)がそれぞれ負担
標津町エコ・ツーリズム交流推進事業	1,500	観光ガイド協会が実施する、歴史文化遺産等観光資源の維持管理活動、体験観光設備等の整備、感染症対策に係る備品整備等に要する経費に対する助成
防災行政無線消耗品設置交換事業	1,436	本年6月の落雷に起因する戸別受信機の故障多発により不足が生じたことに伴う、必要在庫数補完のための購入経費(30台分)
学校保健特別対策事業	8,000	学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る体制整備のための、物品購入費等(小学校分・中学校分各4,000千円)
標津町生涯学習センター修繕改修経費	1,012	「あすばる」の温水ボイラー不具合に伴う部品交換修繕費用
日本遺産認定推進事業	1,038	日本遺産フェスティバル参加旅費、日本遺産シンポジウム開催経費等



副委員長
山崎陸郎議員



委員長
南 憲治議員

令和元年度の決算を、議長と町議会選出の監査委員を除く8名で構成される決算審査特別委員会に付託しました。
期限 令和2年11月30日

決算審査特別委員会

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

町政のそこが聞きたい

令和2年第3回定例会(9月10日)で2議員が一般質問をしました。
各議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

小川 悠治 議員

5ページ

● 返納後も住み続けられる

高齢者の運転免許自主返納対策を！

申請による運転免許の取消し(自主返納制度)と運転経歴証明書

申請による運転免許の取消し(自主返納制度)

身体機能の低下などを自覚し、自主的に免許証を返納したいとの要望



平成9年の道路交通法改正により、自主返納制度を導入(平成10年4月施行)

運転経歴証明書

「自主返納を行うと身分証明書がなくなってしまう」等の懸念



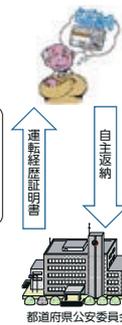
平成13年の道路交通法改正により、運転経歴証明書を導入
(平成14年6月施行)



平成24年の犯収法施行規則改正により、銀行等において、
本人確認書類として使用可能に(平成24年4月施行)



令和元年の道路交通法改正により、運転免許の失効者も
運転経歴証明書の交付申請が可能に(令和元年12月施行)



『標津町運転免許 自主返納支援』 利用者実績

合 計	返納時の年齢				返納時の年齢
	90歳 ～ 100歳	80歳 ～ 89歳	70歳 ～ 79歳	65歳 ～ 69歳	
男性 22名	男性 3名	男性 14名	男性 4名	男性 1名	性別
女性 20名	女性 1名	女性 9名	女性 8名	女性 2名	
42名	4名	23名	12名	3名	合計

(平成29年8月～令和2年7月)

吉田 智 議員

6ページ

● 再編統合問題、2025年・2042年問題を乗り越え

持続可能な 地域医療体制の構築を！



標津町国民健康保険標津病院

● 【(仮称)サーモンパーク観光センター】を 効果的・効率的な 『広域観光の 情報発信拠点』に…



標津サーモン科学館と旧サーモンハウス

返納後も住み続けられる

高齢者の運転免許自主返納対策を！

問 町は、交通事故の抑制を目的として、運転に不安を持つ65歳以上の高齢者の運転免許の自主返納支援事業を行なっている。

町は、交通事故の抑制を目的として、『運転経歴証明書』の発行に要した経費の補填を受けている(42名の返納者の内訳は、左記の通り)

- ★配偶者が免許保有10名
- ★子と同居 23名
- ★独居であるが子が町内、近隣町に居住 9名

令和2年8月5日現在の65歳以上の人口1579人中、運転免許保有者は1001人で高齢者の免許保有率は約63%になる。

令和2年7月までの3年間で42名の方が自主返納し、商工会商品券3万円(最大)と、運転免許証に代わる公的本人確認書類と



小川 悠治 議員

この事より、現状における自主返納者はおける自主返納者は、返納しても家族支援が受けられる人だけに限られていると言える。私の試算によると、当町の70歳以上の独居世帯・夫婦世帯の約340世帯が、高齢者運転の危険性を抱えながらも、運転免許を保持せざるを得ない状況にあると推測される。自主返納の支援につ

いては現行の「自主返納支援事業」のほかに『返納後も住み続けられる』様に、一歩進んだ対策が求められる。現在推進されている左記事業の利用状況とそれを踏まえた今後の対策・方向性を質す。

- ① 高齢者無料バス事業
- ② 高齢者等通院ハイヤー事業
- ③ 無料循環バス事業
- ④ カウモン号運行事業

答 副町長 当町の運転免許自主返納支援事業は、平成29年度より始めた事業であり、御指摘の通り、7月末現在、65歳以上の自主返納者は42名に達している。高齢者保健福祉計画の移動支援等の利用現況は下記の通りである。

図表 参照

①～④事業の利用状況

<p>③ 無料循環バス事業</p> <p>【標津市街循環線】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平均乗車数 H21年 6.4人 R1年 1.1人 	<p>登録者116人 (平均年齢80.9歳)</p> <p>【古多糠一川北線】</p> <ul style="list-style-type: none"> H21年 8.7人 R1年 6.2人 	<p>① 高齢者無料バス事業</p> <p>H27～R1年 5年間の平均値</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者 1,106人 登録者 123人 利用者 67人 利用率 54.5% (利用率: H27年 62.7% R1年 50.0%)
<p>④ 標津町商工会『カウモン号』運行事業</p> <ul style="list-style-type: none"> H22年より運行 10店舗が加盟 1日平均利用者27人 (利用者の9割が高齢者) 	<p>・月～金曜日迄週5日運行</p>	<p>② 高齢者等通院ハイヤー事業</p> <p>H27～R1年 5年間の平均値</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者 81人 利用者 57人 利用率 70.4% (1人当たり平均利用回数9.2回)

図表

副町長の答弁を図表化

【その後の質問等】

各事業の利用者が減少している現実を鑑み、高齢者の『足』(移動手段、交通機関)の確保を最優先に考慮し、利用者の要望に沿った「地域公共交通」の在り方の検討が求められる。

高齢者等の移動手段確保を前提とし、所管横断型で「地域公共交通連絡会議」を立ち上げ、10月に初会議を開く。更に今年度は、「標津町地域福祉計画」(第2期)の策定の年であり、日常生活に欠かせない「足」確保の為に支援事業を検討し、計画策定に当たる。

答弁後、小川議員は、利用者の減少は、利用者が不便性を抱いている故であると質した。更に、ボランティアドライバー制度の導入等を提案した。

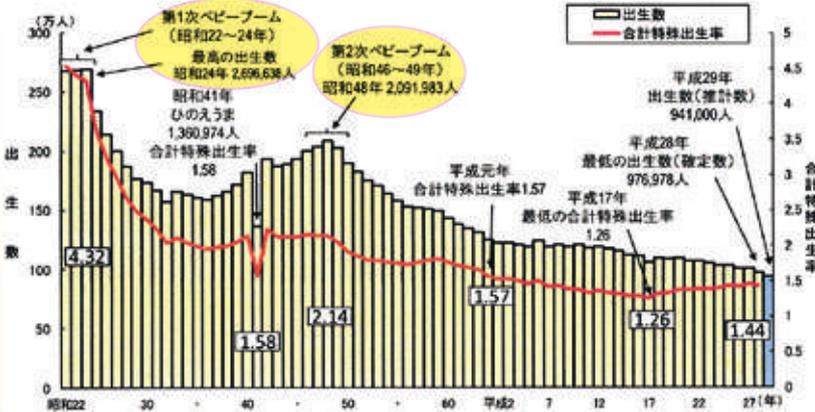
2025年・2042年問題

参考資料

2025年：第1次ベビーブームの『団塊世代』が後期高齢者となり、医療・介護費が膨張する。
2042年：第2次ベビーブームの『団塊ジュニア世代』が高齢者年齢（65歳以上）に入り、高齢者人口がピークを迎える。[高齢者人口…約3935万人]に到達。

出生数、合計特殊出生率の推移

平成28年の合計特殊出生率（確定数）は1.44で前年比0.01ポイント下降、平成29年の出生数（推計数）は過去最低の94万1,000人で、前年比約36,000人減少した。



【出展】厚生労働省HP「人口動態統計」〔一部加筆〕



吉田 智 議員



『健康と福祉のむら』の看板塔

持続可能な地域医療体制の構築を！

再編統合問題、2025年・2042年問題を乗り越え

【全国一人当たりの概算医療費】〔2018年度〕75歳未満22万2千円・75歳以上（後期高齢者）93万9千円

問 コロナ禍により、公立・公的病院の再編統合の問題は仕切り直しの状況であるが、いずれ再燃するであろう。標津病院は、30年前より「健康と福祉のむら」構想に基づき「医療と介護の連携」の核となってきた。現在、当病院は、久留米大学医学部と連携し、内科学講座及び外科学講座の教育関連診療科として位置付けられており、円滑な医師派遣が行なわれている。再編統合構想に巻き込まれる事なく、現在の体制と関係を堅持し、医療・介護の有する求心力を「まちづくり」に帰結する事が肝要。金澤町長は進退に関して明言されていないが、来年は、町長改選の年である。何方が町長になられても、この

体制と関係を堅持して行く事が必須である。新型コロナウイルス感染症の収束が見えない現状に於いて、少子高齢化社会の進む中、確実に訪れる2025年・2042年問題。高年齢者の急増と相俟って、若者人口の減少は、医療介護人材の不足を生じさせる。今迄通りの「身近で安心な医療体制」を維持して行く事は、難しくなると予測される。これらの問題を乗り越え、持続可能な地域医療体制の構築が望まれるが、この件に関する町長の所信を質す。

参考資料

【(仮称)サーモンパーク観光センター】を

効果的・効率的な『広域観光の情報発信拠点』に…



問 現在検討中の(仮称)サーモンパーク観光センターを、関係者と熟考を重ね巨視的観点に立ち、効果的・効率的な広域観光の情報発信拠点と捉え、推進を。 **答** 拙速感を与えているが、観光関係者・議会と連携し遂行する。

ある。正に超々高齢社会に到達する。大野高義医院長「久留米大学医学部」町行政の関係を堅持し、この難局を乗り越え、標津病院を死守する。

標津町のランドマークである標津サーモン科学館の展望塔と旧サーモンハウス

常任委員会の動き

町内行政研修

第7回文教福祉建設常任委員会

町内福祉施設に関する4項目を質した

- ①新型コロナウイルス感染症対策の現況
- ②入所者の状況
- ③新型コロナウイルスの運営への影響
- ④現在の課題等

文教

福祉

建設

福祉

8月3日、第4回臨時会終了後、標津町保健福祉センター守田次長より、上記4項目に対して、左記の通りの報告を受けた。

①標津福祉会の各事業所及び民営施設（グループホーム「夢ふうせん空」）において、面会制限等、入居者、職員間において、徹底した感染防止対策が施されている。

②新型コロナウイルスによる制限下の中、当初、入居者はストレスが溜り気味であったが、入居者の理解と職員のストレス軽減策により、解消されつつある。今後、できる範囲内の面会や行事を検討中。（福祉会の施設、民営施設共に）

③、④の質問に関して、報告を参照。

報告

※民間施設に関する報告は紙面の都合上、掲載割愛

3 質問③の報告

4 質問④の報告

運営母体	社会福祉法人 標津福祉会																													
項目	「標津はまなす苑」	「陽だまり」																												
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」(63床)・ショートステイ(4床) ・デイサービス(1日25人)・居宅介護支援事業所(35件) 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」(20室21人) ・小規模多機能型居宅介護(登録25人/通い15人/宿泊9人) 																												
新型コロナの運営への影響	<p>【両施設共通事項】</p> <p>【7月21日時点の状況】</p> <p>★特段、新型コロナ休暇(子供や孫の面倒)による欠員の影響は無し。但し、元々の人員不足により全事業所とも、職員の負担が大きい状況に変わり無く、今後のコロナによる学校、こども園の休みによる影響が心配される。</p>																													
(1)職員確保	<p>【令和元年度収支決算】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>収入(円)</th> <th>支出(円)</th> <th>差引(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人本部</td> <td>0</td> <td>1,021,548</td> <td>▲1,021,548</td> </tr> <tr> <td>特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」</td> <td>260,184,211</td> <td>258,025,758</td> <td>2,158,453</td> </tr> <tr> <td>デイサービスセンター</td> <td>45,282,715</td> <td>45,372,054</td> <td>▲89,339</td> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業所</td> <td>4,078,770</td> <td>3,949,317</td> <td>129,453</td> </tr> <tr> <td>計(A)</td> <td>309,545,696</td> <td>308,368,677</td> <td>1,177,019</td> </tr> <tr> <td>法人合計(A)+(B)</td> <td>404,739,792</td> <td>402,541,457</td> <td>2,198,335</td> </tr> </tbody> </table>		区分	収入(円)	支出(円)	差引(円)	法人本部	0	1,021,548	▲1,021,548	特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」	260,184,211	258,025,758	2,158,453	デイサービスセンター	45,282,715	45,372,054	▲89,339	居宅介護支援事業所	4,078,770	3,949,317	129,453	計(A)	309,545,696	308,368,677	1,177,019	法人合計(A)+(B)	404,739,792	402,541,457	2,198,335
区分	収入(円)	支出(円)	差引(円)																											
法人本部	0	1,021,548	▲1,021,548																											
特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」	260,184,211	258,025,758	2,158,453																											
デイサービスセンター	45,282,715	45,372,054	▲89,339																											
居宅介護支援事業所	4,078,770	3,949,317	129,453																											
計(A)	309,545,696	308,368,677	1,177,019																											
法人合計(A)+(B)	404,739,792	402,541,457	2,198,335																											
(2)収支	<p>【令和元年度収支決算】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>収入(円)</th> <th>支出(円)</th> <th>差引(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」</td> <td>50,372,228</td> <td>47,212,306</td> <td>3,159,922</td> </tr> <tr> <td>小規模多機能型居宅介護</td> <td>44,821,868</td> <td>46,960,474</td> <td>▲2,138,606</td> </tr> <tr> <td>計(B)</td> <td>95,194,096</td> <td>94,172,780</td> <td>1,021,316</td> </tr> </tbody> </table> <p>※デイサービスは3月、利用回数制限(1日2回を1回に)1カ月分 150~170万円の減収</p>		区分	収入(円)	支出(円)	差引(円)	サービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」	50,372,228	47,212,306	3,159,922	小規模多機能型居宅介護	44,821,868	46,960,474	▲2,138,606	計(B)	95,194,096	94,172,780	1,021,316												
区分	収入(円)	支出(円)	差引(円)																											
サービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」	50,372,228	47,212,306	3,159,922																											
小規模多機能型居宅介護	44,821,868	46,960,474	▲2,138,606																											
計(B)	95,194,096	94,172,780	1,021,316																											
現在の課題等	<ul style="list-style-type: none"> ★感染予防対策の一つとして、職員のマスク着用での勤務を行っているが、既存の特養やデイサービスにはエアコン等の機器が無く、職員の体調管理(室内での熱中症)が難しく今後の検討が必要。(毎日浴室を使っている他、大人数で生活をしている施設の為、湿度が春夏秋と高い) ★介護人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・退職者の補充確保が困難。 ・夜勤職員確保のため、日中の介助補助パートにより対応している。 ★特養築27年経過による施設設備の更新経費 <ul style="list-style-type: none"> ・ピット内温水暖房配管(4系統) 57,000千円 ・ピット内給水配管(2系統) 21,000千円 【計】78,000千円 	<ul style="list-style-type: none"> ★感染予防に係る機器や消耗品等の確保と備蓄。 ★陽だまり建設費に係る借入金の償還 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度までは町より償還金の補助あり。 <p>・償還期間 令和6年度~17年度(12年間) 139,130千円(11,594千円/年)</p> <p>文教福祉建設常任委員会の見解</p> <p>※施設設備の更新経費に対して、町の支援が望まれる。</p>																												



特別養護老人ホーム「標津はまなす苑」の外観



デイサービスセンター「標津はまなす苑」の玄関



サービス付き高齢者向け住宅「陽だまり」の外観

9月25日(金) 当委員会は第一委員会室において、教育委員会に対し

- ① 新型コロナウイルスに感染した児童・生徒へのいじめに対する対応について
 - ② 学校内のAED(自動体外式除細動器)の使用体制についての2点に関して、説明を求めた。
- これに対して加瀬管理課長より
- ① 令和2年8月文部科学省より通達された、萩生田文部科学大臣の文書
 - ② 児童生徒等や学生の皆さんへ
 - ③ 保護者や地域の皆様へ

新型コロナウイルス感染症を理由とした差別や偏見などでつらい思いをしたら

児童生徒等の皆さんの不安や悩みを受け止める相談窓口は、下記の通りです。一人で苦しまず、ぜひ利用してみてください。

- ☐24時間子供SOSダイヤ 0120-0-78310
https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/1306988.htm
- ☐子供の人権110番《法務省》 0120-007-110
<http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken112.html>
- ☐都道府県警察の少年相談窓口
<https://www.npa.go.jp/bureau/safetylife/syonen/soudan.html>
- ☐いのちの電話の相談 0120-783-556
一般社団法人日本いのちの電話連盟
<https://www.inochinodenwa.org/>
- ☐チャイルドライン(18歳までの子供が対象) 0120-99-7777
<https://childline.or.jp/>
- ☐新型コロナこころの健康相談電話 050-3628-5672
一般社団法人日本臨床心理士会、一般社団法人日本公認心理師協会
<http://www.jscpp.jp/info/infonews/detail?no=730>

文部科学省ホームページより作成

● 教職員をはじめ学校関係者の皆様へ

を配布し、感染した人や症状のある人へのいじめや差別等を防ぐように対応している。

又、実際にいじめ等が出た場合には、職員会議さらには教育委員会等で即時対応すると説明を受けた。

② 毎年度標津中学校生徒、川北中学校生徒及び、教員が数回普通救命講習「成人の心肺蘇生法、自動体外式徐細動器(AED)の使用法」、あすばる主催のASJ(アスリートセーブジャパン)の「いのちの教室」でAED講習を受けて方が一の事故に備えている。

北海道町村議会時報(発行:北海道町村議会時報編集部)第602号に田中議長の随筆が掲載されました



標津町議会
議長 田中孝幸
人口減少時代に挑戦する「政策パッケージ」

標津町の町名の由来は、アイヌ語で「シベツ」(鮭のいるところ)を語源とし、江戸嘉永年間「鮭場所」として拓かれ鮭を中心と栄えてきました。知床半島の裾野に広がる大地における酪農業と町名の由来のとおり根室海峡の恩恵による、水産業の2大一次産業を基幹産業とする「生産の町」です。平成12年には、国内初の浜の高度衛生管理システム(HACCP方式)「標津町地域ハサップ」を創り上げ、漁業から加工業、運送業など地域が協働し安全食品の供給体制を確立しています。農業においては、近年の大規模経営化により生乳生産量の著しい伸びを示しており、乳製品ではしべつ牛乳などの独自ブランド化に取り組んでいます。また、「海・山・川・大平原」がおりなす、感動の大地「標津町」を、まちづくりのシンボルテーマとして、「人口減少時代に挑戦する政策パッケージ事業」を平成26年度より展開しています。

子育て政策では、出産祝い金の給付や子ども園の3歳以上無償化、暮らしの政策では、住宅取得、リフォーム助成、産業・経済政策では、起業、農業就業支援補助、漁業資源対策やブランド化を図っています。この三本柱のもと町の人口は社人研推計の人口推計の減少ペースを抑え、政策の成果が表れています。

更に明るいニュースとして標津町が代表自治体となり根室市、別海町、羅臼町の協力のもと申請しておりました令和2年度「日本遺産」の認定を6月に受けました。「鮭の聖地」の物語「根室海峡」1万年の道程「〜」一万年に及ぶ時の流れの中で、文化、海路、陸路、鉄道、道路が根室海峡に続く「道」が生まれ、人と自然、あらゆるものが鮭と繋がる物語です。これからは日本遺産を地域活性化のもう一つのカテゴリーとして議会をあげてサポートしてまいりたいと思っております。

総務

経済

第7回(7月30日木)
総務経済常任委員会

「標津町新型コロナウイルスに係る緊急経済対策」Q&A

① 地域振興に関して企画政策課長が資料に基づき説明

Q 国の「新型コロナウイルス対策臨時交付金事業」の概要は。

A 国から各自治体へ交付限界額が提示される。限度額内で事業計画を提出し、内容精査の上、交付される。

今回、地域経済対策及び感染予防対策として、2億6500万円が交付予定である。

Q 町の中小企業緊急融資事業第2弾の内容は。

A 第1弾は融資限度額が1千万円であったが、今回は500万円とし、数多くの事業者を救済

する事を目的とした。

Q 町民宿泊モニタープランは、町民が町内での宿泊を前提か。

A この件に関しては検討中である。GOTOキャンペーンや道民割等、国・道で似た様な支援事業が出て来たので、十分整理し、重複しない様、詰めて行く。

② 商工観光行政に関して商工観光課長が資料に基づき説明

Q 小規模事業者給付金の給付条件は。

A 今年3月～5月のいずれかの月の売上高が前年同月比20%以上減少している小規模事業者(製造業及び卸売・

【標津町小規模事業者給付金】従業員規模:(製造業)20人以下(卸売・小売業・生活関連サービス業)5人以下

小売業・生活関連サービス業)が対象となる。

Q 7月27日現在、執行率が38%と低い要因は。

A 売上高の減少が20%までいかなかった事業者、20%以上減少しているが、従業員規模の関係で対象にならなかった事業者が多々あった。製造業は23事業者の内、6事業者しか対象にならなかった。

Q 漁獲不振により、漁業は元より、水産加工業・運輸関係が打撃を被っている。加えて、コロナ禍により、価格が安価になっても消費が伸びず、加工業者は在庫を抱え込んでいる状況にある。水産関係の経済対策は、第4弾の事業に見当たらないが、今後の対策は。

A 小規模事業者給付金では、一部の加工業者にしか助成できなかった

たので、対応事業を考慮に入れる。

Q 勤労学生生活支援金給付事業の執行率が、僅か9%ととても低い。※対象学生167名の内、高々15名の学生への支援に止まっている。計画と結果が乖離しており、勤労学生の生活支援の目的が達成されていない状況では。

A 教育委員会の所管であるが、募集の段階でHP、広報のチラシ、標津高校卒業生の進学先の大学、専門学校等50校に通知しPRした。その他、教育委員会連絡協議会で担当者に説明し、周知を促していたが、応募者が少なかった。

その原因追究等を含め、担当者との協議して行きたい。

Q 6月の当委員会において、十分時間がある

※最終的に、22名となった

ので、下調べをして検討する事を指摘した。

国の学生支援緊急給付金を申請している事を前提に、前月收入が50%以上減少している勤労学生を条件としたが、ハードルが高過ぎたのではないか。

今の勤労学生の置かれている現状は、相当厳しい。現状に添った条件を検討し、多くの学生に支援金給付を。

A 秋以降、計画変更が可能であるので、今回経済対策が充足されていない事業に対し、代替事業を、今後検討を進めて行く。

コロナの早期なる収束を願うが、当分、困難に屈せず、一丸となつての努力が肝要。コロナ弱者に対し、より有益な経済対策事業が要望される。良計を。

Q: 委員会からの質問 A: 町からの答弁

寄稿



いつも感謝の心を忘れず

いきいきサロン「遊友会」

代表 藤本 量子

今年は大変な年となった。二月頃までは大丈夫だと思っていたがその後、いたる所でコロナの影響が出て来た。

を共にし声を出して笑いなど普通の事が密だからだめなのだ、残念な事だが来年には早く再会したいものである。

日々思う事ですが人は自分だけではない。他のかかわりの中で自分があるんだ、人にも物にも感謝の心でいたいと、当たり前事だけに自然の中でいかされてい

るんだと感じている。何年後、新たに片づけをしていては子に伝えながら、老いては子に伝えながら、今片づけをしてよかったです。皆に感謝している私です。

殆どの催しが中止になり、標津神社祭りも町民祭り水・キラリ、秋味祭り等も出来なかった。社会や人との繋がりが密になりやすい事が出来なくなる。

私も社会福祉協議会の「いきいきサロン」活動が三密になるので、中止せざるを得なかった。

本来なら月に一度のサロンの日を楽しみにしてくれるお年寄りの方々に、私より元気な方々がいる。食事

話を要する大変な事だ。『ありがとう。』

今年は大変な年となった。二月頃までは大丈夫だと思っていたがその後、いたる所でコロナの影響が出て来た。

を共にし声を出して笑いなど普通の事が密だからだめなのだ、残念な事だが来年には早く再会したいものである。

日々思う事ですが人は自分だけではない。他のかかわりの中で自分があるんだ、人にも物にも感謝の心でいたいと、当たり前事だけに自然の中でいかされてい

るんだと感じている。何年後、新たに片づけをしていては子に伝えながら、老いては子に伝えながら、今片づけをしてよかったです。皆に感謝している私です。

長年の蓄積もあり手つかずのまんまでしたが娘の「やるう」の声で家族の手を借り始めました。

物置の品を全部外へ出し仕分けする。殆どガラガラ行き、もつたいないも、まだ役に立つかも、皆んなガラクタ行き。家具、ステレオ、服、本、ふとん、など

三週に渡り2トントラック6回分。段ボールと紙類、本などまとめて古紙業者へ引き渡し、後は掃除が残っているが殆どきれいに片付きました。そのあと、写真の整理をしている。

何年後、新たに片づけをしていては子に伝えながら、老いては子に伝えながら、今片づけをしてよかったです。皆に感謝している私です。

『ありがとう。』

編集室



10月3日秋サケの町

民への配布がありました、今年の来遊予測が前年比マイナス15%との事にもかかわらず、全町民への贈物に感謝感謝です。

12月にはホタテ・バターの配布が予定されている様です。大切に戴きます。

(山崎 陸郎)



秋サケ配布を待つ町民



秋サケを受け取る町民

議長 田中 孝幸

広報特別委員会

委員長 大垣 吉田
 委員 勇智

委員 山崎 陸郎